

第18回難民映画祭上映作品

南スーダンで生きる ～ある家族の物語～

国として勝ち取った「自由」

果たしてそれは本物の自由といえるのか――

その答えを追い求める ある家族の記録



難民映画祭パートナーズ 明星大学特別上映会

日時：2023年12月2日（土）開場12:30 開演13:00 終了予定15:30

会場：明星大学 日野キャンパス 28号館 104号室

料金：無料（要事前申し込み）

主催：明星大学 国際コミュニケーション学科 「映像翻訳」

後援：国連UNHCR協会

特別ゲスト：立教大学文学部 橋本栄莉准教授

特設サイト・
申し込みはこちら



MEISEI
UNIVERSITY

難民映画祭
REFUGEE FILM FESTIVAL

PARTNERS

明星大学の学生が字幕を制作した第18回難民映画祭上映作品



『南スーダンで生きる ～ある家族の物語～』

アクオルは、父親がヘリコプター事故で命を落としたとき、16歳だった。父親は「南スーダン建国の父」故ジョン・ガラン・デ・マビオル。20年以上にわたりスーダン人民解放運動を率い副大統領に就任した直後に亡くなった。国外の避難先で生まれ育ったアクオルは、母親と妹に続き南スーダンに移る。母親は国の5人の副大統領の1人として政治的責任を引き受け、妹は洪水被災者に援助を提供するなど、それぞれが自分の役割を見つける。一方、若く未婚のアクオルは、南スーダンを「故郷」と呼ぶことの意味を自問自答する。そしてカメラを手に答えを探し始める——。（ドキュメンタリー/2022年/83分）

南スーダン共和国について

南スーダン共和国は、2011年にスーダン共和国から独立してできた「世界で一番新しい国」です。約半世紀にわたる内戦、各地での地域紛争、政情不安、深刻な洪水などの影響を受け、国内外に多くの避難民が発生しています。

- 面積：64万km²（日本の約1.7倍）
- 人口：1,074万人（2021年時点）
- 首都：ジュバ
- 人種・民族：ディンカ族、ヌエル族、シルク族、ムルレ族、他多数



明星大学の授業「映像翻訳」について

明星大学人文学科国際コミュニケーション学科の選択科目「映像翻訳」は、海外の映画やドラマを題材に学生が字幕翻訳を行う実践型授業です。映像のメッセージをいかにわかりやすく伝えられるか、生徒同士で意見を出し合いながら作業します。本上映作品の字幕は、本クラスの履修生全員で力を合わせて作成しました。

上映後に特別ゲストを迎えトークイベントを実施します！

ゲスト：橋本栄莉氏（立教大学文学部准教授）

2009年より南スーダンのヌエル（Nuer）社会やウガンダの南スーダン難民のコミュニティで宗教や人々の紛争経験に関するフィールドワークを行っている。専門は文化人類学、東アフリカ民族誌学。博士（社会学）。主著に『エ・クウォス：南スーダンにおける予言と受難の民俗誌』（2018年、九州大学出版会）。



【開催概要】 難民映画祭パートナーズ 明星大学特別上映会

日時：12月2日(土) 開場12:30 開演13:00 終了予定 15:30

会場：明星大学 日野キャンパス 28号館104号室

料金：無料・要事前申し込み

アクセス：多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」直結

毛利ゼミ主催
フェアトレードカフェ
同時開催



Instagram X (Twitter)

来場の際は必ずこちらから事前申し込みをお願いします→

（締め切り：12月1日(金)、満席の場合入場をお断りする場合がございます）

